

## エフモル工業

## エフモル AI

製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品の名称 : エフモル AI

供給者名称 : 株式会社エフモル工業 住所 : 〒062-0052 札幌市豊平区月寒 2 条 17-3-75

担当部署 : エフモル事業部 電話 : 011-595-7085 Fax: 011-853-0220

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性 : 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分1  
 目に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(気道刺激性)  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器)

GHS ラベル要素

絵表示



## 3. 組成、成分情報

製品の区別 : (混合物)

成分 : ポルトランドセメント、高炉スラグ骨材、無機微粉末、添加材、特殊混和剤、有機繊維  
シリカフェーム

化学特性 (化学式など)

成分名	含有量 (%)	化学記号	官報公示整理番号	CAS番号
ポルトランドセメント	35~45			65997-15-1
ケイ酸カルシウム		CaO · SiO <sub>2</sub>	1-194	12168-85-3
アルミン酸カルシウム		CaO · Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	9-2408	12042-78-3
鉄アルミン酸カルシウム		CaO · Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> · Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	—	—
硫酸カルシウム		CaSO <sub>4</sub>	1-193	7778-18-9
			—	10034-76-1
			—	10101-41-4
酸化カルシウム		CaO	1-189	1305-78-8
骨材・混和材				
高炉スラグ	40~55		—	65996-69-2
メリライト		—	—	—
ケイ酸カルシウム		CaO · SiO <sub>2</sub>	1-194	1344-95-2
シリカフェーム	2~5	SiO <sub>2</sub>	1-548	69012-64-2
その他の成分	5~10	非公開	非公開	非公開

#### 4. 応急措置

- 目に入った場合 : 多量の清浄な水で15分以上目を洗浄した後、速やかに医師の診断を受ける。洗浄の際は、まぶたを指でよく開き、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- 皮膚に付着した場合 : 製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼を使って洗い落とす。外観に変化がみられたり、痛みなどがある場合は医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 鼻をかみ、よくうがいをする。清浄な空気のところへ移動して安静にする。必要に応じ医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすいで水を飲ませた後、医師の診断を受ける。吐かせないで医師の指示に従う。意識がない場合は口からなにも与えない。

#### 5. 火災時の措置

- 消火方法 : 当製品は不燃性固体のため、周囲の貯蔵品の種類により消火方法を決定する。
- 消火剤 : 一般火災に準じ、周囲の貯蔵品の種類により消火剤を決定する。  
水スプレー、水噴霧、二酸化炭素、粉末消火剤等。注水は飛散防止に配慮する。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した製品を回収する際は、保護手袋、保護眼鏡、防塵マスク等の保護具を着用し、なるべく粉塵を吸入・接触しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 製品のまま、また、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。
- 除去方法 : 真空掃除機、ショベル、ほうきなどで、できる限り集めて空容器に回収し、残りは多量の水で洗い流す。できるだけ粉塵を立てないようにする。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : セメントと同様、粉塵を吸入したり眼に入らないように適切な保護具を着用する。皮膚や粘膜に触れないようにする。取扱い後は、眼、顔、手等をよく洗う。  
換気の良い場所で取り扱う。当該製品を取扱う場合は、コンタクトレンズの使用は避ける
- 保管 : 水分や湿気を避け、セメントと同様に保管する。屋外では屋根や日よけを設ける。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 普通ポルトランドセメント:1.5mg/m<sup>3</sup>(遊離ケイ酸 0.85%の時)。  
シリカ質土石粉じん:0.08mg/m<sup>3</sup>(遊離ケイ酸:28%の時)
- 許容濃度 : 第2種粉塵(ポルトランドセメント):1mg/ m<sup>3</sup>(吸入性), 4mg/ m<sup>3</sup>(総粉塵)(日本産業衛生学会 2005) シリカ、石英のTLV=0.1mg/ m<sup>3</sup>(吸入性粉塵)
- 設備対策 : 集塵機等の使用により粉塵の拡散を防止する。排気設備、洗浄用設備、洗眼器。
- 保護具 : 保護眼鏡、保護手袋、防塵マスク、保護クリーム、防塵用ゴーグル等

#### 9. 物理的及び化学的性質

- 外観等 : 灰色粉体 臭気:なし pH:該当しない(水溶液:約 12~13)
- 凍結点 : 該当しない 沸点:該当しない 密度:測定値なし
- 揮発性 : なし 溶解度(水):微量溶解 かさ密度:測定値なし
- 引火点 : なし 発火点:なし 爆発限界:なし

#### 10. 安定性及び反応性

- 安定性・反応性 : 通常の扱いで安定。水分と接触すると水和反応を起こし発熱する。
- 避けるべき条件・材料 : 酸と混合すると反応して発熱する。
- 危険有害な分解生成物 : 情報なし

#### 11. 有害性情報

- 吸入時 : 粘膜を刺激し、多量の粉塵吸入により、呼吸器系を損傷する可能性がある。
- 皮膚接触 : アルカリ性によって炎症を起こす可能性がある。感作性を示す可能性がある。長時間または繰り返し接触することにより、皮膚を損傷することがある。

- 眼の接触 : アルカリ性及び異物による刺激があり、角膜に損傷を起こすことがある。
- 急性毒性 : 製品としてのデータなし。通常の作業では有毒性は少ないと予測される。
- 長期毒性 : 粉塵による障害の原因となることがある。
- 結晶性シリカ : 日本産業衛生学会発ガン性分類(2001)=1(人間に対して発ガン性のある物質)
- その他 : 成分中のセメントには極微量の六価クロムが含まれており、六価クロムに過敏の場合はアレルギーが起こる可能性がある。

## 12. 環境影響情報

魚毒性 : 製品としてのデータなし。公共水域、下水、土壌中等にそのまま排出してはならない

## 13. 廃棄上の注意

政府または地方自治体によって定められた方法により処分する。

専門の廃棄物処理業者に委託処理する

少量の場合は適量の水で練り混ぜて硬化させた後廃棄する。

水溶液はアルカリ性を示すので中和処理をする。

## 14. 輸送上の注意

容器破損に注意。取扱い及び保管上の注意の項参照。

国連分類、国連番号:該当なし

## 15. 適用法令

労働安全衛生法第 57 条の 2(通知物質): シリカ(シリカ、シリカフューム)(令別表第9:311 号)

PRTR法: 該当しない

## 16. その他の情報

ここに記載した内容は、作成時点までに弊社が収集した資料、データ、情報に基づいて作成したもので、すべての情報を網羅したものではなく、また、あらゆる場合を想定したものではありません。用途、用法に応じた安全対策をしてください。また、記載したデータは製品の仕様あるいは保証値を示すものではありません。

記載内容についてのお問い合わせは担当部署までご連絡下さい。